

山梨県 | 地球温暖化防止活動推進センター通信

Act For Future!

◆第2回山梨県地球温暖化防止活動推進員研修会 報告

12月23日（水）冬至の柚子が香る「まちの駅やまなし」にて第2回の研修会が開催されました。推進員同士の相互学習と今後の活動に向けて協働できるネットワーク作りを目指し33名のご参加がありました。事例紹介の後には交流の場もあり、次は一緒に活動しよう！というような協働の可能性も話されていました。

●エコ環境練楽甲斐「かぼちゃ収穫祭&フードマイレージ講座」の報告

甲斐市の放棄地の茶畑を再生してお茶を収穫し美味しく食べたり飲んだりする楽しいイベントを開催、蕎麦作りにも挑戦し「地産地消」を伝えます。かぼちゃ収穫祭では双葉西小学校の児童を迎え野菜を生み出してくれる

“土”に触れ、土の貴重さや健全な土を守る重要さを学び、土が生み出してくれたかぼちゃで美味しいポタージュを味わったそうです。特に子どもの心に響いた場面として、水が引けない畑なので限られた水を「手洗い→野菜洗い→道具洗い→大地に撒く」というように何度も使い回す体験を通して、子供自身が水の貴重さに気づいてくれたそうです。



●池田仁さんの「ピザ釜で楽しもう～地球温暖化防止イベント」の報告



池田さんはロケットストーブ作り講座の開催を通して工具等も使って丁寧にする“ものづくり”の楽しさを伝えています。木の端材を燃料にすることで森林などの環境を綺麗にすることにも貢献。手仕事の成果として、焼きたてのピザを食べた瞬間の美味しさ！が醍醐味だそうです。研修当日も参加者の皆さんと実際のストーブを囲みながら、どの薪がよいか、どんな構造か、よく火が燃えるためには空気の流れる仕組みはどうかなどを教えて頂き、推進員の中には活用されている方も多く、どのように料理に使えるのかその活用の仕方を皆さんでワイワイとお話しできとても楽しい雰囲気でした。やっぱり実物を見ての意見交換は良いですね！

◆エコハウスやまなしの視察

全国20ヶ所に建てられているエコハウスは、その地域の風土に合わせて造られているようで、山梨市のもは蚕を飼う家屋には造られている「越屋根」が特徴で、夏には涼しい風が入り、冬には日照に恵まれていることを生かして「蓄熱土間」を主たる暖房としており、不足分はペレットストーブで補っていました。使用木材は「葉枯らし材」と言う伐採後にそのまま自然乾燥をさせた材です。一般的な材は乾燥室で重油を使って乾燥させるそうなのでその点もエコということでした。建てる時にエコ、使うときもエコ、解体するときもエコ、を目指した住宅とのことでした。



◆「どうすすめる？温暖化防止はじめの一步」講演会 報告

1月27日（水）、山梨県立図書館を会場に、やまなしエコネットとの共催で「どうすすめる？温暖化防止はじめの一步」講演会を開催しました。県内の行政担当者や市民、推進員さんが参加されました。

まず、山梨大学名誉教授の鈴木嘉彦氏の講演では、改めて教育基本法・前文を確認し“わが国の未来を切り拓く教育”を目指していることを再確認し、現在の生活様式では「高レベル放射線廃棄物」と「地球温暖化」という2つの負の遺産を残すことになる、今こそ「持続可能な発展（開発）」に取り組もう、特に環境教育の取り組みが重要であるというお話を頂きました。



続いては各市町村からの事例紹介です。

甲府市はアクションプランを元に多様な展開を進められており、市内小学校での「太陽エネルギー体験教室」や公共施設へのペレットストーブ導入、緑のカーテンや植樹などの緑化活動、燃えるゴミの削減方法を伝える環境教育など、市民と協働をする形で環境教育をいろいろな場面で実践されていました。

富士川町では町内イベントでのリユース食器の利用促進に町ぐるみで取り組み、10年前と比べて飛躍的にリユース食器の利用が普及していることや、それによって削減できたCO₂の量をわかりやすく“杉の木”の本数に換算し“見える化”することで、より町民の意欲向上を目指しているという報告でした。

山梨市ではエコハウスやまなしを拠点としたロケットストーブ作り教室やリユース品交換会など暮らしに密着した事業や、“キッズ ISO14000 プログラム”と題し子供達が夏休み中に我が家のエネルギー利用をチェックし改善策を家族で話し合い削減につなげるという、家庭を巻き込んだ環境教育プログラムを紹介。また、地域性を生かして桃やブドウの剪定枝を集めて薪利用できる人へ資源を循環させるシステムの活用なども紹介されました。

最後の意見交換で出されたものとしては「山梨は地域ごとに取り組むテーマも多様なので、各市町村で特徴を生かした環境教育が行われることが理想である」や「せっかく良い取り組みがあるので、もっと情報交換をして県内全体で横の連携が出来ると良い」という意見や、「今回のように市民と行政の方がフラットな場で、気軽にアイデアを話し合うような場がもっとあると、お互いに本音で話ができるのでは」というような声が出ていて、改めて顔を合わせて話し合う場の大切さを確認しました。



県内のイベント報告

◆みんなで音楽を聴きながら環境問題について考えよう

1月23日（土）昭和町総合会館で、今年で7回目を迎える環境を考える会が行われました。「NHKの朝の連続テレビ小説“あさが来た”では、炭鉱がでてきますね。100年前、石炭がエネルギーに大きな変化をもたらした時代の話です。そして今、石油も含め化石燃料の時代に、地球温暖化をはじめ、多くの課題があります。100年後にはどんなエネルギーを僕たちは使い、どんなエネルギーとの付き合い方をしているのでしょうか？そんなことに思いをはせながら

“あさが来た”を聴いてみてください」そんな曲紹介で演奏が始まりました。

指揮者の方のアナウンスに、一曲一曲の選曲への思いが伝わってきます。指揮者の方は学校の先生でした。お米作りを通した食育や環境保全の学びの場で子どもたちの様子を一番近くで見守った方だそうです。甲斐市敷島吹奏楽団の演奏をききながら、その後ろでは「人と環境すっきり昭和」の一年間の活動がスライドショーで流れます。スライドは、田んぼの中で土を感じ風を感じ、笑顔あふれる子どもたち。廃食油回収に汗を流す大人たち。環境への思いをマイバックに一生懸命に描きく親子。ひとつ一つのスライドから、そこにかけがえのないやさしい時間が流れていたことを感じます。

「できるひとが、できるときに、できることを・・・」。主催の「人と環境すっきり昭和」のみなさんの大切にしている思いが、会場の中を音楽と共にすっぴりとくるんでくれた時間でした。



◆ウェルネスHOTな冬まつり



1月9日（日）大月市の桂川ウエルネスパークにたくさんの笑顔の花さきました。「落ち葉のプール」で隠されたおみくじを探す子どもたち。見つけたおみくじは囲炉裏であぶると文字がでてくるしかけになっています。その指令にしたがって次のヒントをさがしにいきます。広場にはすすき凧作りでつくった凧をあげる姿や、大盛り上がりの大カルタ大会。コマやけん玉の伝承遊びコーナー。キープ協会からの出展は2コーナー。ひとつはペレットストーブきりんくんを使った「豆乳ぜんざい」。餅のかわりのマシュマロがぜんざいにとけて体もあつたまります。燃料のペレットは木質バイオマスのひとつ。実際に手でさわってみます。もうひとつは、推進員の鈴木律子さんのイラストでつくったぬりえコーナー。ぬりえは少ないエネルギーでみんなが元気になれるヒントが伝わるカルタのようになっています。例えば、「旬の食べものが一番（夏の食べ物は、体を冷やし、冬の食べ物は体をあつためるよ）」や「冬の省エネひと工夫（ウオームシェア、断熱シート、ゆたんぼ、ひざかけ・・・お鍋もいいね!）」など。

かわいいイラストに一所懸命に色をぬる子どもたち。

「地元の食材だと、運ぶエネルギーも少なくてすむものね」

「干し柿は、お日様がおいしくしてくれるんだよ」。農をテーマにした桂川ウエルネスパークならではの視点でも話がはずみました。寒い季節だからこそ、お日様の日差しのあつたかさ、人が寄り添う時間のあつたかさ。お日様からはじまる自然のエネルギーの循環の上に、人の暮らしがなりたっていることをあらためて感じる、HOTな気持ちになれる一日でした。

今後のイベント情報

◆南アルプス市市民活動フェスタ 2016

楽しいイベントを通じて、様々な団体同士の交流や、日頃の活動の成果発表を通じて、市民活動の啓蒙啓発を推進しこれからの協働のまちづくりを進めます。

- ・日時／2016年3月13日（日）10:00～15:00
- ・会場／南アルプス市若草生涯学習センター（南アルプス市寺部 725-1 TEL；055-283-8311）
- ・主催／市民活動フェスタ 2016 実行委員会
事務局 南アルプス市市民活動センター TEL；055-282-7325
- ・後援／南アルプス市、みんなでまちづくり推進会議（予定）
- ・協力／南アルプス市子育てファミリーフェスタ実行委員会（予定）
- ・内容／展示・販売等の館内外ブース設置、ホール発表、館外飲食販売



◎連絡先：市民活動フェスタ 2016 実行委員会 事務局 南アルプス市市民活動センター TEL；055-282-7325

◆「エコふじかわ」（富士川町地球温暖化対策地域協議会）のホームページがリニューアルされました

この度、エコふじかわ（富士川町地球温暖化対策地域協議会）のホームページをリニューアルしました。関連イベント、講演会の情報、日常のエコの工夫や富士川町の四季の自然の様子などを掲載していきます是非、一度ご覧になってください

<http://ecofujikawa.main.jp/>

◆回避できない環境異変 ～対応すべき適応計画

一昨年2月の山梨での大雪、北関東豪雨による鬼怒川の決壊、インドの熱波など、世界の地球温暖化による異常気象や大災害が次々と起こっています。今後はどうなっていくのでしょうか。私たち市民に求められることは？講師に、東京大学名誉教授・月尾嘉男氏（YBSラジオ「日本全国8時です」出演、さぶん賞の実行委員長）をお迎えします。お問い合わせの上、ぜひご出席ください。

- ・日時；2016年3月5日（土）13:30～15:00
- ・会場；山梨県立文学館・講堂（甲府市貢川 1-5-35）
- ・内容；甲府市地球温暖化対策協議会の活動紹介
講演「環境異変への適応戦略」 講師；月尾嘉男氏
- ・定員；500名
- ・参加費；無料
- ・主催；甲府市地球温暖化対策協議会
- ・後援；山梨県・甲府市・山梨県地球温暖化防止活動推進センター・
やまなしエコネットワーク・山梨環境カウンセラー協会・日本技術士会・NPO法人みどりの学校



◎お問合せ・お申込み

甲府市地球温暖化対策協議会 事務局（甲府市役所環境保全課）まで

電話；055-241-4312 FAX；055-241-6190 メール；kankyohozen@city.kofu.lg.jp



発行；『山梨県地球温暖化防止活動推進センター』公益財団法人キープ協会

〒407-0301 山梨県北杜市高根町清里 3545 キープやまねミュージアム内

TEL;0551-48-8011 FAX;0551-48-3577 Mail; eco@keep.or.jp URL;<http://www.keep.or.jp/yccca/>